

2003
秋冬号
2004
11月～2月
プログラム

ELDERHOSTEL

Elderhostel — 世界を舞台に楽しく学ぶ大人の教室 —

エルダーの旅便り

発行 特定非営利活動法人エルダー・ホステル協会 〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24 piaNPO 404 TEL.06-4395-1222 FAX.06-4395-1225
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-13-5D TEL.03-5469-0681 FAX.03-5469-0682 <http://www.elder.or.jp>

ホステラーとともに進化し続けた10年 >>>>>>>

エルダー・ホステルの理念や本質を理解しないままにはじめたコーディネーター役ですが、好奇心旺盛なホステラーに感化されながら、自分が〈進化〉してきたというのどき音かもしれません。

半信半疑ではじめた、第1回月山講座



特に印象深いのははじめての講座(1989年2月)です。2月の月山は完全にオフシーズン。「雪深いこの季節に人が来るのか?」という疑いがありました。なにしろこの辺りは積雪が5メートル

近い豪雪地帯。協会の大社さん(現・専務理事)と相談して、決まったプログラムが豪雪の中での「鷹狩りと音楽会」という内容でした。

半信半疑で募集状況を見守っていたら、意外にもあっという間に定員に達してしまいました。そしてもっと驚いたのは、参加者たちの年齢を感じさせない好奇心旺盛な姿勢でした。恐るべしエルダーパワーです。

知的で活動的で好奇心旺盛な高齢者を日本にも発見

私は若いころから旅が好きで、世界中を歩き回った経験があります。旅先の世界中のリゾートなどで、欧米の年配者の旅のカタチや生活を垣間見てきました。そして日本とは、余りにもかけ離れた人生の過ごし方に驚くばかりでした。それから四半世紀を経たいま、我が日本のホステラーは、かつて見た豊かな暮らしを満喫する欧米人以上に新鮮な感動を与えてくれています。それは、日本にはいるはずがないと思っていた知的・好奇心旺盛で活動的な高齢者が実はいっぱいいたということです。そんな粋なホステラー



に満足してもらえる講座を開催することは仕事冥利につきません。全力を出した仕事に対して、ホステラーから喜んでもらえること程うれしいことはありません。

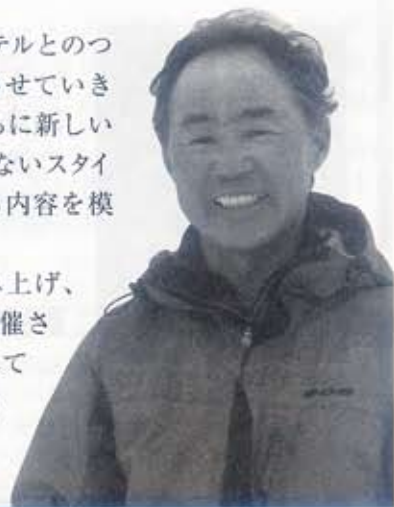
コーディネーター役がライフワークへと発展

そんな訳で月山講座の開催は、私にとって、ある種ライフワークと考えるようになりました。コーディネーターを務めるには、毎日が勝負のようなところがあります。一年以上前から講座開催に向けて構想を練り、テーマや講師を選定して準備に取りかかります。常に連続するこの一連の作業が自分自身の能力を磨き、忘れがちな生活に喝をいれてくれていると思っています。

講座開催の度に、講師や地域の協力者との人的交流の輪もどんどん広がっていきます。そして人的なソフトウェアを活用することによって、私の住む地域のポテンシャルがどんどん高まってきました。これはまさにエルダーから頂いたパワーなのだと思います。

今後も、エルダー・ホステルとのつき合いをますます発展させていきたいと思っています。さらに新しい視点で、そして今までにないスタイルにも挑戦して魅力ある内容を模索していくつもりです。

そしてノウハウを積み上げ、近い将来、講座が常に開催されるスーパーサイトにしていくのが今の夢でもあります。



コーディネーター

月山ボレボレファーム 奥山 悌二 Okuyama Teiji

エルダー・ホステル国内講座の草分け的存在のコーディネーター。抜群の企画力とともに、つかず離れず、過不足なく、というホステラーとの距離感も実は人気の秘密。(山形県西村山郡西川町)

▶ 奥山さんがコーディネーターを務める月山講座は

7ページに掲載